

場所

場所がなくなつた
道がわからなくなつた
私はただ泣いて

おとうさん おかあさん
そして愛した貴方の名前を呼ぶ

あるべき場所のない場所は
ぼつかり空いた穴のよう
穴だらけ裏方のよう

穴だらけワタシのよう
寄り添つても大切なものが
スースーとこぼれてきた

手方は冷えてきた 埋めたい穴
柔らかな肌のおまのひと
穴だらけ生きようとする

貴方が埋められたい穴
貴方と仲良くしたかったな

場所がなくなつた
道がわからなくなつた
私はただ泣いて

おとうさん おかあさん
そして愛した貴方の名前を呼ぶ

くずくずして迷い込んだ道は
怖い大人がたくさいてた
愛しい貴方だけを見ていたら

どこにも戻れなくなつた
ビルの隙間から音楽が
心振るわず綺麗な歌

ワタシが出ないキーの音
ワタシを連れ戻してくれ
入れない扉とぼんやり灯が点る窓

貴方は今でも愛な形で
身体をよめて眠るのだろうか
新しい場所ができて

今は行かぬ道りにも
ふやけてしまつて
埋めるものができて

迷うことを忘れて
あの場所があった 確かにあつた

私は大人になつた
たぶん大人になつた
大人になつた
大人になつた

風

懐かしい風がうまれた
そっぽ向いた風おいかけた
通り香はあひのひとの匂い

あの場所に腰を下した
柔らかな肌のおまのひと
あの肌はまだ触れたいな

風は跳ねるように どこまでも吹く
雲は右を向き 私は何処に若く

ちぎれ雲
届くかな柿の木
風景がかきなりまた消えた

過ぎる日々にならば今日日は
風は跳ねるように どこまでも吹く
雲は右を向き 私は何処に若く

風は跳ねるように どこまでも吹く
雲は右を向き 私は何処に若く

風は跳ねるように どこまでも吹く
雲は右を向き 私は何処に若く

風は跳ねるように どこまでも吹く
雲は右を向き 私は何処に若く

風は跳ねるように どこまでも吹く
雲は右を向き 私は何処に若く

おんなじ

思えば遠くきたような
おんなじ月はおんなじ屋根の上に
あの娘の暮らしておんなじように

おんなじ遠くで流れたのに
ほんやりと睡めた日々が
先にいけよと連れ出した

置いてゆきよと氣持を
置るように

私を遠くに連れ出して
まだ見ぬ景色を見ろと云うのか
おんなじ月はおんなじ穴け方をして

懐かしい日々を戻すのだから
あひのひとが笑つてた感觸が
おんなじを忘れるなと諭す

奮い立たせるよとな
あひのひとの眠る顔

おんなじ角度でみた月が
模様違う雲に挟まれ消えて
ぼつかり浮かび上る眩しさに

おんなじように雲を掻き分け逃げる
ありふれた日常の浮き沈みや
立ち続けた足音の浮腫が

生きていることと
私を連れ戻す

こわれてしまった1日
作詩・作曲 友部正人

愛について考える
童向により歌詞の記載はありません

アイウエオ
作詩・作曲 遠藤チロウ

働く
やさしい人に逢えた日は

背筋を正して心穏やかにして
貴方の言葉に見合ふよな
綺麗な眼を持ち立ちたいと願う

鏡の前で整えて
意地悪な顔は出さずに済むように
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

やさしい人に逢えた日は
部屋を掃除してこゝと健やかにして
悲しい言葉を忘れず

感じたい嘘は付かずに済むように
抱の中で忘れてた
恥ずかしい唄がカタカタ鳴つた

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

働いて今日日はよかつたな
働いて今日日はよかつたな

紅の頬をした可愛い君よ
1989年の愛しい私よ
通り過ぎた僕いひひとよ

放り出してしまつた幼い愛よ
片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

片時も離れない私のおま
片時も離れない私のおま

自由

扉を開けたら「うそ」が居た
ホウホウ帰るな もう泣くな

もう泣くな
見据えたら
見据えたら

見据えたら
見据えたら

見据えたら
見据えたら

見据えたら
見据えたら

見据えたら
見据えたら

見据えたら
見据えたら

見据えたら
見据えたら

見据えたら
見据えたら

見据えたら
見据えたら

見据えたら
見据えたら

見据えたら
見据えたら

見据えたら
見据えたら